

# 進路だより —それぞれの夢に向かって—



微笑む進路 MUHS 進路指導部

第 1 0 号

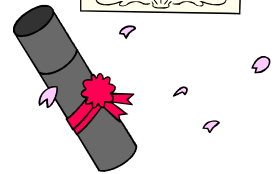
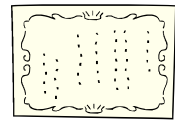
1 3 . 2 . 1 5



進路だよりはイチゴの日

## 今年度の主な学校行事・進路関係 (2/16 ~ 3/15)

16日 (土)	休業日	2年センター早期模試
17日 (日)		
A週 18日 (月)	3年登校日・2年人権教育 学校評価懇話会・学校関係者評価委員会	
19日 (火)	高校入試願書受付 (~ 20日)	
20日 (水)		
21日 (木)	高校入試志願先変更期間① (~ 22日)	
22日 (金)		
23日 (土)	土曜授業日	
24日 (日)	週休日	
B週 25日 (月)	3年登校日・1年合同総合	
26日 (火)	高校入試志願先変更期間② 2年教員進路研修会	
27日 (水)	予餞会準備 1年教員進路研修会	
28日 (木)	高校職員会議・予餞会準備	
3月 1日 (金)	3時間授業・大掃除・高校入試会場作成・食堂営業なし	
2日 (土)	週休日	
3日 (日)		
B週 4日 (月)	入試学力検査 (臨時休業)・食堂営業なし	
5日 (火)	採点 (臨時休業)	
6日 (水)	採点 (臨時休業)	
A週 7日 (木)	3年登校日 ※ この日の授業A週 午前予餞会・午後授業 (⑤⑥) 合同校務委員会	
8日 (金)	入試選抜会議 (臨時休業)	
A週 9日 (土)	土曜授業日・学年末考査①・食堂営業なし P T A進路委員会 (10:00 ~ 大会議室)	
10日 (日)		
B週 11日 (月)	学年末考査②・3年登校日・食堂営業なし 入学許可候補者発表 (9:00) 卒業式予行	
12日 (火)	学年末考査③・新2年教科書販売・食堂営業なし 第5回保護者対象大学受験セミナー (13:30・視ホール)	
13日 (水)	学年末考査④・新3年教科書販売・進路事例検討会 (1年) 卒業式予行3年 (1, 2限) 1, 2年 (3限) 式場設営 (4限)	
14日 (木)	第63回卒業式 (10:00)	
15日 (金)	卒業生合格体験講演会 (1年1限・2年2, 3限)	



## 平成24年度（現3年生）指定校推薦大学入試合格校一覧

1)	首都大学東京	都市教養学部	都市教養（法学系）
2)	首都大学東京	システムデザイン学部	システムデザイン学科
3)	早稲田大学	文科構想学部	
4)		人間科学部	
5)		人間科学部	人間情報科学
6)		先進理工	応用物理
7)		創造理工	建築
8)		基幹理工	
9)	立教大学	法	政治
10)		文	史
11)	明治大学	政治経済	経済
12)		商	商
13)	青山学院大学	経営	経営
14)		総合文化政策	総合文化政策
15)	法政大学	社会	社会政策科学
16)		法	政治
17)	学習院大学	理	化学
18)	同志社大学	商	商
19)	日本女子大学	人間社会	現代社会
20)	津田塾大学	学芸	英文
21)	明治薬科大学	薬	薬（6年制）

## 平成24年度（現3年生）国公立大学公募・AO推薦入試合格校一覧

1)	埼玉大学	教育	教員養成・美術専修
2)	埼玉大学	教育	養護教諭養成課程
3)	筑波大学	情報学群	知識情報図書館学類
4)	東京海洋大学	海洋科学	海洋生物資源
5)	東京学芸大学	初等教員（A類）	幼児教育
6)	埼玉県立大学	保健医療福祉	健康開発（健康行動科学）
7)		保健医療福祉	健康開発（検査技術科学）
8)		保健医療福祉	理学療法
9)		保健医療福祉	理学療法
10)		保健医療福祉	作業療法
11)		保健医療福祉	看護
12)		保健医療福祉	看護
13)		保健医療福祉	社会福祉

## 平成24年度（現3年生）私立大学公募・AO等推薦入試合格校一覧

1)	慶應義塾大学	総合政策	総合政策
2)		総合政策	総合政策
3)		法	政治
4)		文	人文社会
5)	上智大学	外国語	ドイツ語
6)	日本女子大学	理	物質生物
7)	関西学院大学	国際	国際
8)	杏林大学	保健	臨床検査
9)	文化学園大学	服装	服装造形

※ 併願可の推薦を含みます

## 【 3月12日(火)は第5回保護者対象大学受験セミナーです。 】

3月12日進路セミナー当日は、駿台予備学校から実際に大学の受験状況を分析している方を講師としてお迎えし、現在進行形で行われている現3年生の入試における状況も踏まえながら進路指導部の教員と今年の入試動向を振り返ります。

今年度行われました大学入試センター試験では、3年ぶりに平均点が下がりました。過去2年間平均点が上がっていましたので、平均点が下がることは予想されていました。特に国語が昨年よりも-17点、数ⅠAが-19点となり、5教科7科目文系で-41点、5教科7科目理系で-35点でした。昨年よりも点数が取れなくて落ち込んだ生徒も多く見られました。全体の平均点が下がったわけですからあまり深く考えずに「今」やることに集中することです。

昨年は平均点が上がりましたが、全体的に堅実な出願傾向でした。今年は平均点が下がり、なおさら堅実になることでしょう。センター試験の点数でリサーチした結果で合格しそうな大学学部学科を選んでも、結局は全国の高校で同じ指導をしているわけですから「合格しやすい」所は狙われます。個別試験の科目が得意かどうか、またセンター試験との比重などを考慮して、絶対無理だとあきらめてしまえば別ですが、やはり第一志望を貫いてほしいところです。三年前の2010年度入試では志望校を下げすぎたために国公立大学後期入試前に私立大学(MARCHなど)に合格したりして受験しなかった例も見られました。また受験しても第一志望校ではないためにモチベーションが下がってしまい「行くだけ」になってしまった人もいました。

東日本大震災後の混乱の中で信州大学の後期試験に向かった先輩がいました。その先輩の合格可能性は「E」でした。それでもその先輩は受験のため長野県に行ったのです。結果は見事合格です。受験は学力勝負です。しかし、学力以外の「気持ち」が一番左右します。どれだけその大学に入りたいのかという気持ちの強さで合格が決まります。受験では「偏差値」ばかりが取り上げられますが、「部活動や学校行事」での「経験」が受験での「気持ち」の強さを育てます。「部活動や学校行事」のことを私は「受験ホルモン」と呼んでいます。やはり秋以降成績が伸び悩んでいる生徒に限って「受験ホルモン」が低下していると感じます。またそういう生徒の多くは「受験ホルモン」を自分にとって大事なものとして取り入れません。肉体の健康はやはり毎日の「食事」が基本です。「勉強」も毎日の食事＝「授業」を大切にしなければなりません。塾や予備校はあくまでも「サプリメント」なのです。本末転倒した考えではセンター試験や個別入試で思うような結果が出にくいのも事実です。

当日参加された保護者の方には、今年の実験の詳細な動向などを説明した後に具体的な質問などがあればお受けしたいと存じます。

保護者セミナー当日のスケジュールは、13:00～受付、13:30～14:30頃までの時間で難関大学と呼ばれる大学の入試を中心として説明し、休憩を挟み保護者の皆様にご覧いただいた「質問事項」にお答えする形式で進めていきます。途中退出も可能ですので遠慮無くお越し下さい。資料を用意する関係で3/9頃までに担任まで参加申し込みを提出してください。

## 【 今までの保護者対象大学受験セミナーでは… 】

今までの保護者対象大学受験セミナーの講師は、5月駿台予備学校、7月女子栄養大学、10月首都大学東京（第1部）、河合塾（第2部）、12月河合塾（3年生保護者対象のテーマ）の方々でした。どうしてもセミナーの話題は受験に向けての話が中心になりますが、自分に合った大学をいかに選ぶか（オープンキャンパスの見方など）や大学で伸びる生徒のタイプなどと内容は多岐に及びました。

今の時代の大学受験は、昔と様変わりしています。昔は受験勉強は1人でするものでした。しかし今の時代受験は「団体戦」と言われています。「団体戦」と言ってもスポーツの「団体戦」とは全く意味が違います。受験は保護者、学校（場合によっては予備校や塾も？）、生徒本人が一段となって取り組む「総力戦」のようなものです。保護者や教師もたとえ受験会場にいらなくても受験生となった生徒に「寄り添う存在」でなくてはいけないと思います。受験に関して何も知らないのでは「寄り添う」存在としてどうしていいのかわからないのではないのでしょうか？そのために保護者対象大学受験セミナーを利用してください。その時間会場にいて聞いてもらうだけで受験に関する知識が自然に頭に入ってきます。

現代は「心の時代」と言われています。受験生のそばに寄り添って「共感」するだけでも不安を取り除く効果はあります。さらに受験に詳しくなれば、それだけ深くコミュニケーションをとることができるのではないのでしょうか。本校のセミナーは浦和中学校の保護者でも参加可能です。高校受験がない分早くから大学に関する内容に接することで大学受験に必要な知識を得られるメリットがあります。

最近の受験は、高校に依頼される指定校推薦、国公立大学や私立大学の公募、AO入試、センター試験を利用する国公立大学の公募推薦、自由選抜入試、大学入試センター試験、私立大学のセンター試験を利用した入試、私立大学の全学部統一入試など、数えればきりがなほど入試の形式が複雑化しています。

利用できる受験科目や科目数も毎年のように変更されています。自分に一番向いている入試の方式を考えるだけでも様々なアドバイスが必要な時代になりました。

また、入学金は一度納めると返還できません。授業料は納入後も戻りますが、本命の国公立大学に入学手続きを取るまでだいたい私立大学2～3校の入学金が必要になります。

だいたい1校あたり20万円～30万円が相場です。国公立大学の合格発表までいけば「入学を保証する座席指定券」のようなものです。受験では、志望大学に合格するための勉強と同じ労力を使って、併願する大学の合格発表から入学手続き締切日などを考慮した上で「受験計画」を立てなければなりません。

受験＝競争と考えることもできますが、自分に一番向いている大学、学部、学科、入試方式が必ずこの世の中に存在するのではないかと思います。自分に一番合っているものが偏差値と比例しているとは限りません。また入試方式でも自分が得意な科目などで点数が高いようであれば、それだけ「合格」に近づけるといえます。そのためにはまず「自分自身」を知ることが何よりも大切なのではないのでしょうか。